

“高齢者に優しい窓口に” 山陰地方で初めて、軟骨伝導イヤホンを導入

1 概要

雲南市が今年1月に包括連携協定を締結した、全国の信用金庫でつくる「よい仕事おこしネットワーク」では、奈良県立医科大学と連携し、軟骨伝導を活用した高齢者など耳が聞こえづらい方のための「窓口用軟骨伝導聴覚補助イヤホン」の普及拡大に向けて取り組んでいます。

軟骨伝導は「気導（従来の聴こえ）」とも「骨伝導」とも異なる「第3の聴覚経路」と呼ばれ、耳の軟骨へ振動を与えることで音を伝えることができ、イヤホン本体を軽く耳に接触させるだけで、アクリル板越しの相手の声でもはっきりと聴きとることができます。イヤホンが耳を完全に塞ぐことはないため外部音の聞き取りに影響はなく、振動によって伝わるため音漏れの心配もありません。

補聴器に比べると衛生的かつ安価で取扱いやすく、また、音漏れが少なく、大声での会話が不要でプライバシー保護にも役立つことから、高齢者等の利用が想定される市役所本庁舎、しまね信用金庫及び社会福祉協議会において、山陰地方で初めて軟骨伝導イヤホンを導入します。

参考:軟骨伝導とは



「軟骨伝導」は「骨伝導」の一種であるかのように誤解されがちですが、その聞こえのメカニズムや音伝達の性質、特徴は「骨伝導」とは全く異なります。2004年に奈良県立医科大学 理事長・学長の細井裕司先生が発見した軟骨伝導は、これまでに知れ渡っていた空気を震わせて音を伝える「気導」と、骨を震わせて音を伝える「骨導」とは別の経路となる第3の聴覚です。

2 運用開始時期

令和5年9月1日（金）予定

3 導入場所

- ①雲南市役所本庁舎（市民生活課、健康推進課、長寿障がい福祉課） 4台
- ②しまね信用金庫（大東支店、木次支店、三刀屋支店） 3台
- ③雲南市社会福祉協議会（本所） 1台